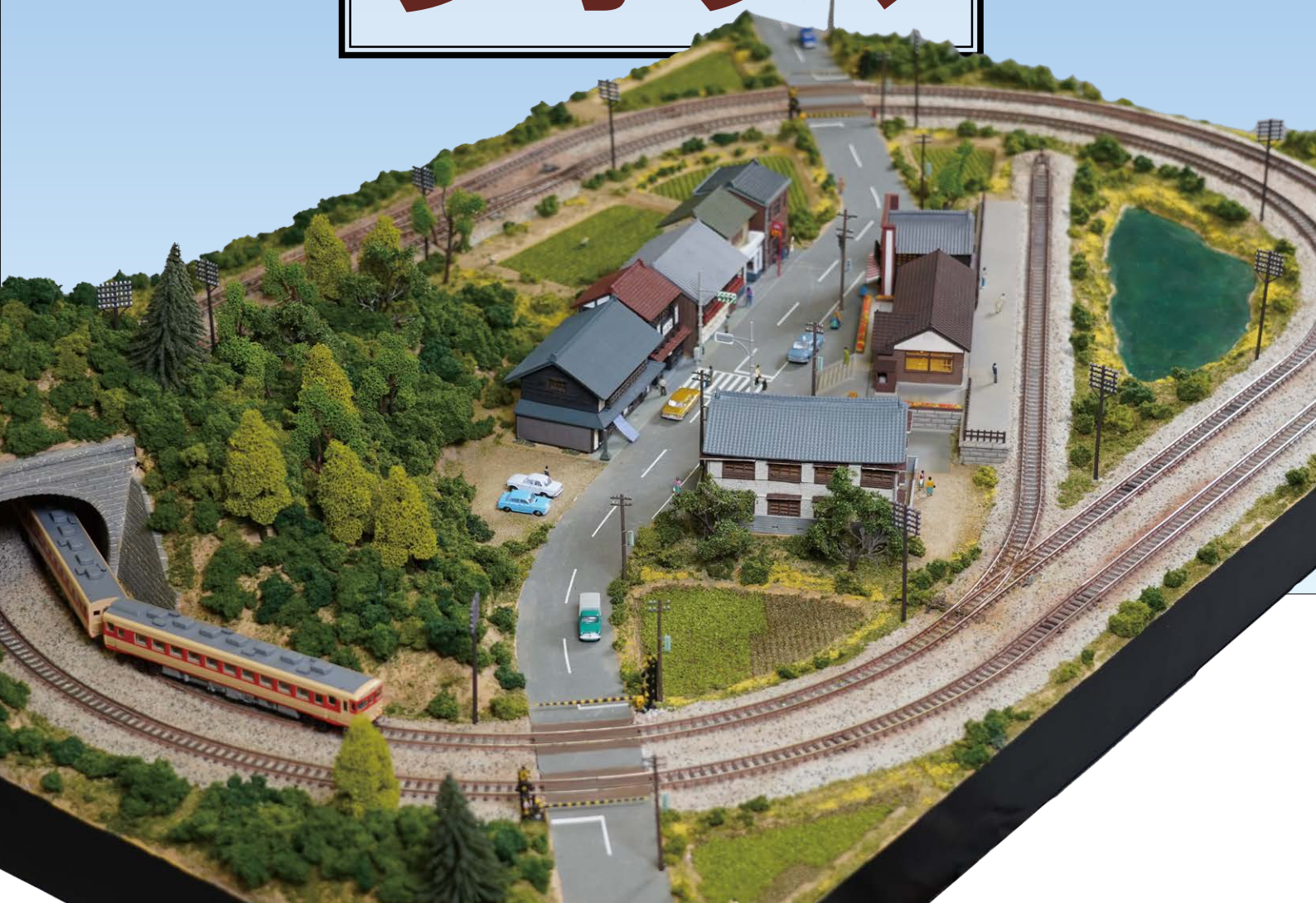


はじめてつくる 本格鉄道 ジオラマ

ステージ

4



はじめてつくる 本格鉄道ジオラマ

ステージ 4：蕎麦屋をつくる、レール(外周)を敷設する

パーツリスト

4-A



4-B



4-C



4-D



4-E



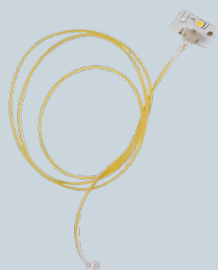
4-F



4-G



4-H



4-P



4-I

4-J



4-K



4-L



4-M



4-O



4-N



※作り方ガイドの写真は、実際に提供するパーツと仕様などが一部異なる場合があります。

4-A 裏外壁

4-B 屋根

4-C 左側外壁

4-D 正面外壁

4-E 右側外壁

4-F 基礎部

4-G LED固定用ネジ

4-H 照明用LED

4-I カーブレールC280-45 (8本)

4-J ストレートレールS70 (2本)

4-K ストレートレールS140

4-L ストレートレールS280

4-M ポイントN-PL541-15

4-N ダミーポイントモーター(ランナー付き)

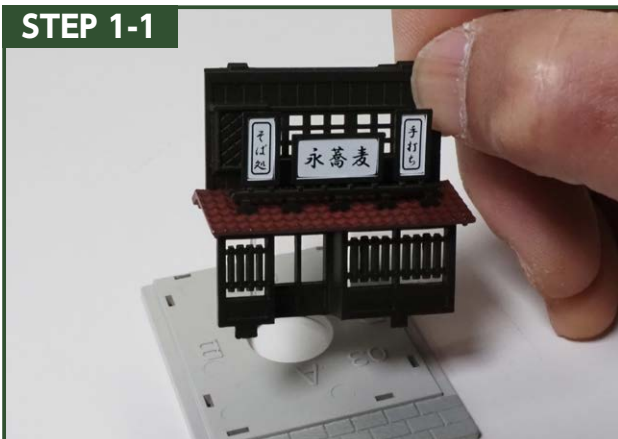
4-O ダミーポイント切替機台

4-P DCフィーダー(2本)



STEP 1：蕎麦屋をつくる

STEP 1-1



4-D正面外壁を4-F基礎部の所定の位置に差し込む。



差し込むと写真のようになる。

※この段階では基礎部に正面外壁は接着しない。
あくまで壁4面を組み立てるためのアタリとして基礎部を使用している。

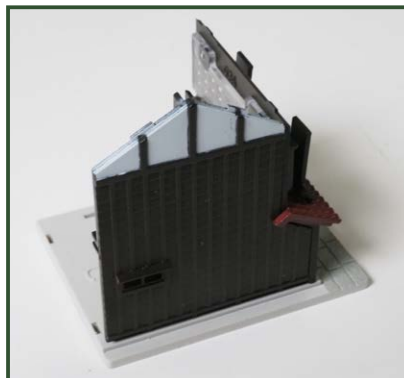
STEP 1-2



正面外壁内側の写真で示した位置にある爪に少量の強力接着剤を塗布する。



写真のように正面外壁と4-C左側外壁を取り付ける。

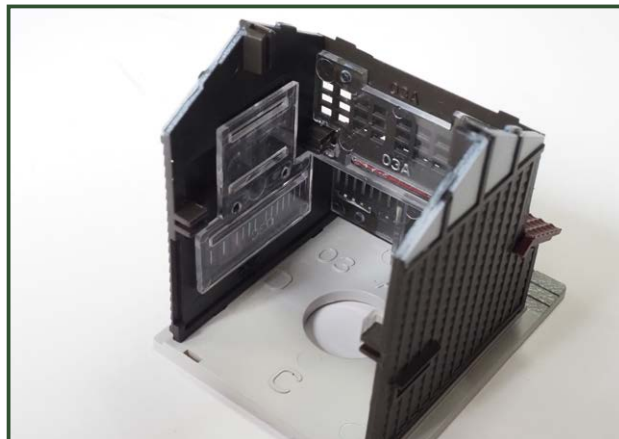


取り付けると写真のようになる。

STEP 1-3



同様に正面外壁内側のもう一方の爪に少量の強力接着剤を塗布し、4-E右側外壁も取り付ける。
取り付けると右の写真のようになる。

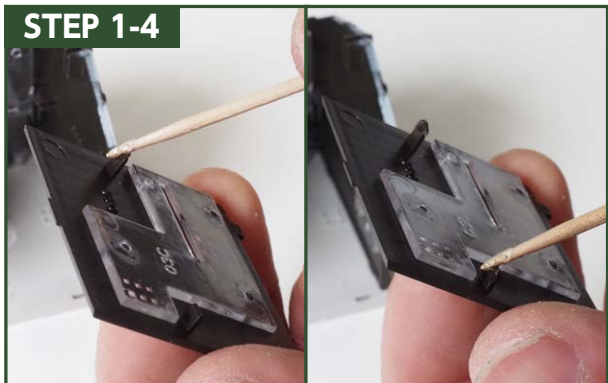




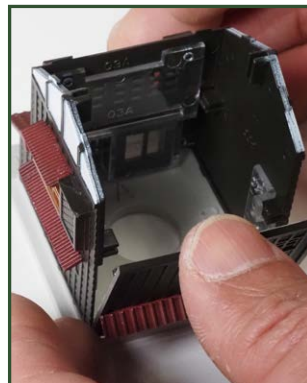
ステージ4 蕎麦屋をつくる、レール(外周)を敷設する

STEP 1: 蕎麦屋をつくる

STEP 1-4

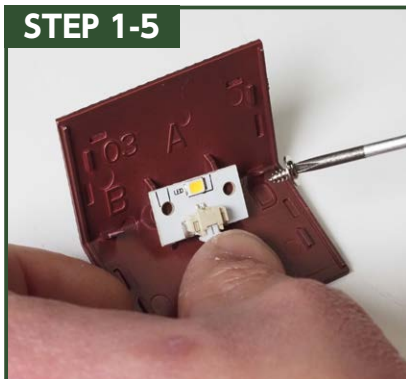


4-A 裏外壁内側の写真で示した2か所の爪に少量の強力接着剤を塗布する。

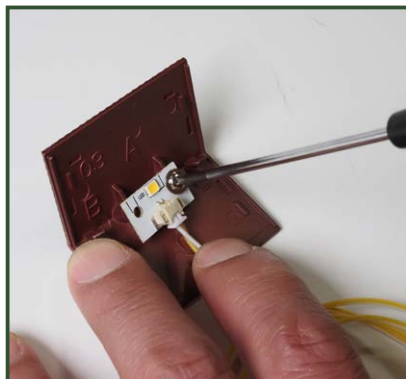


STEP1-3までで組み立てたパーツに裏外壁を取り付ける。取り付けると右の写真のようになる。

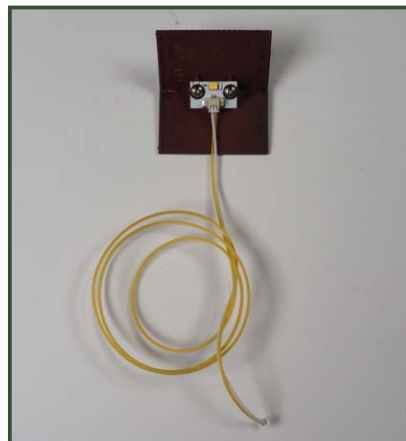
STEP 1-5



4-B屋根の裏側の所定の位置に4-H照明用LEDを配置する。

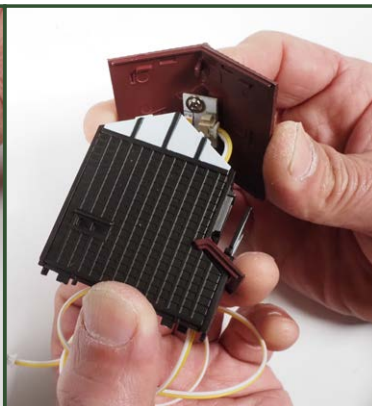


4-G LED固定用ネジで照明用LEDを固定する。



屋根に照明用LEDを取り付けると写真のようになる。

STEP 1-6



STEP1-4までで組み立てた蕎麦屋外壁を基礎部から取り外し、照明用LEDのケーブルを外壁の内側に通し、屋根裏側の爪と左・右側外壁上部の爪受け部がぴったり合うようにして取り付ける。

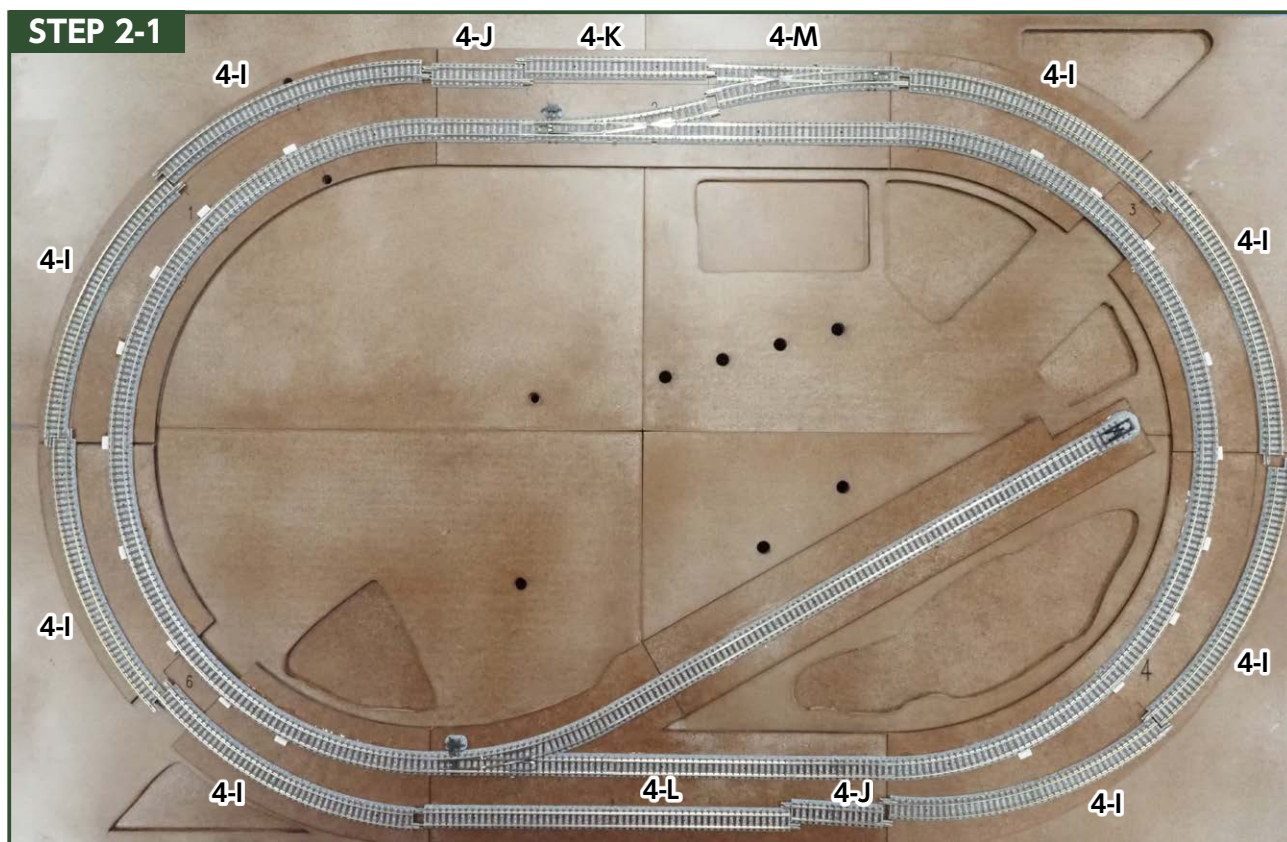


本ステージでの蕎麦屋をつくる作業はここまでだ。



ステージ4 蕎麦屋をつくる、レール(外周)を敷設する STEP 2 : レール(外周)を敷設する

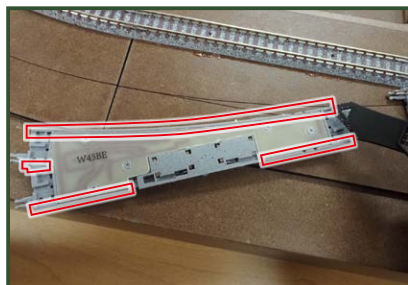
STEP 2 : レール(外周)を敷設する



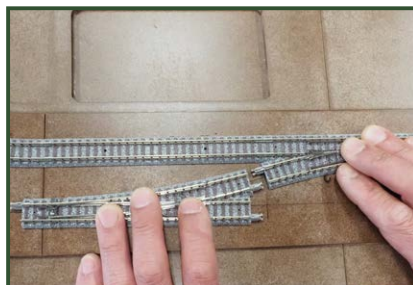
先ず4-I ~ 4-L までのレールを、ステージ3までで組み立てた基礎部の上に配置してみる。
レール道床に刻まれたラインは各種レールの中心線と長さを表している。
この線を目安にレールを固定していく事になる。

STEP 2-2

ここからSTEP2-14までのレールをレール道床に貼って行く工程は一連の作業として行わなければならない。
途中で止められないので、時間に余裕を持って作業に取りかかる。



4-MポイントN-PL541-15の裏側の両側端部に接着剤を塗布していく。この時、基板のある部分には接着剤を塗布しないように注意する。

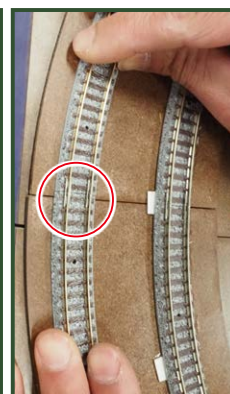
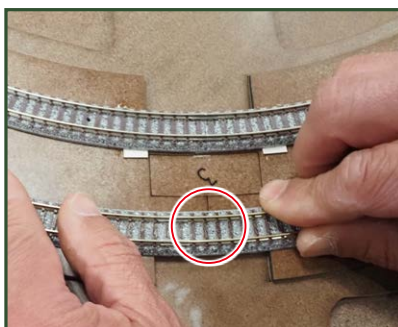


ポイントN-PL541-15を表に返し、ステージ3で既にレール道床2に設置してあるポイントN-PL541-15の未接続の端部と写真のように繋ぎ合わせる。
この時、レール道床に刻まれたレール設置のガイドラインが、レールの中心に来るように注意する。

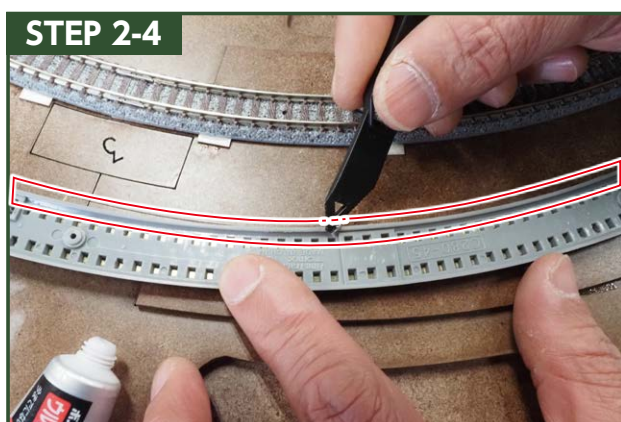




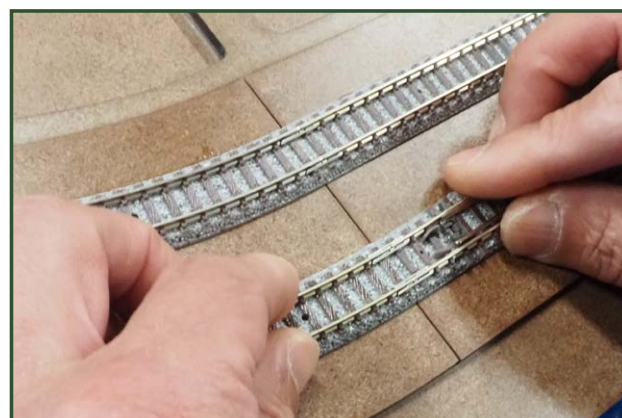
ステージ4 蕎麦屋をつくる、レール(外周)を敷設する STEP 2: レール(外周)を敷設する



4-IカーブレールC280-45を4本用意し、写真のように繋ぎ合わせていく。
赤丸は繋ぎ目を示している。



STEP2-3で繋ぎ合わせたカーブレールC280-45を裏返し、カーブレールの内側端部にだけ接着剤を塗布する。
※内側端部だけを接着するのは、後で外側端部に3-Vカーブレール台座チップを挟み込み、レールにカント(外側を少し高くする角度)を付けるためだ。



接着剤を塗布したカーブレールC280-45を表に返し、STEP2-2で設置したポイントN-PL541-15の端部と繋ぎ合わせる。

ONE
ワンポイント
POINT

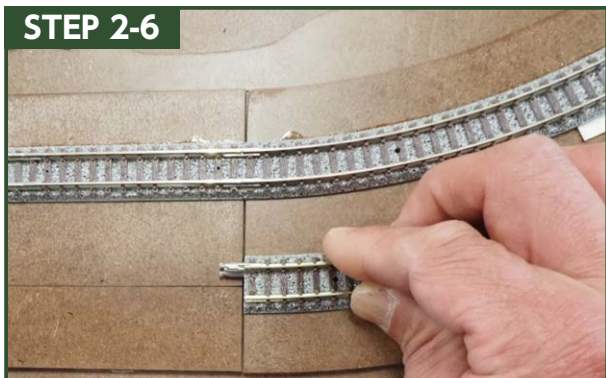


TOMIXの規格ではレールの複線間隔が芯々で37mmと決まっている。これは内・外2本のレール間にもう1本レールを挟み込んだ数値(18.5mm)と同じなので、余剰のストレートレールを使用して複線間隔を簡単に確認する事ができる。

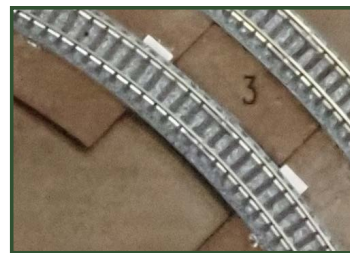


ステージ4 蕎麦屋をつくる、レール(外周)を敷設する STEP 2: レール(外周)を敷設する

STEP 2-6

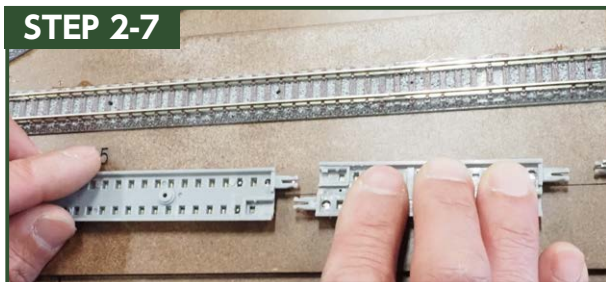


繋いだカーブレール C280-45のもう一端が レール道床4の端部に ぴったり合っていることと、レール設置ガイド ラインがレールの中心 に来ていることを確認 して、カーブレールを 設置する。

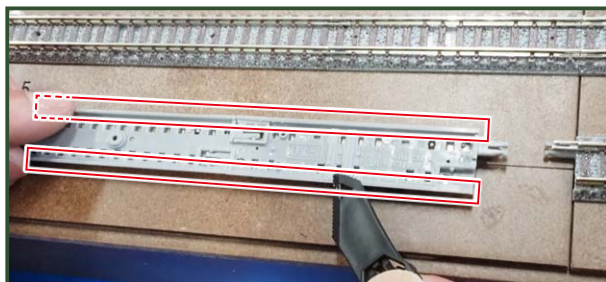


また併せて、3の刻印のある踏 切部の四角のラインにレールが 被っていないことも確認する。

STEP 2-7



4-LストレートレールS280と4-JストレートレールS70を繋ぎ合わせる。



繋いだストレートレールの両側端部に強力接 着剤を塗布する。

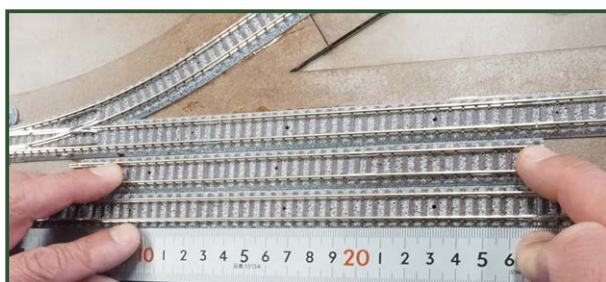
STEP 2-8



STEP2-6で設置したカーブレールの端部にSTEP2-7で 繋ぎ合わせたストレートレールを繋ぎ合わせて設置す る。



その際、内周レールと外周レールの間に4-Kストレート レールS140を置いてみて、複線間隔が合っていること を確かめる。



さらに、繋いだ 4-Lと4-Jのスト レートレールが しっかり直線に なっているかど うかを定規を当 てて確かめる。

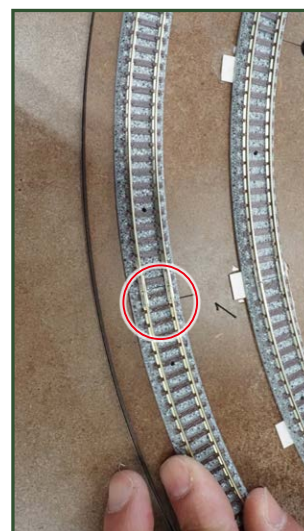
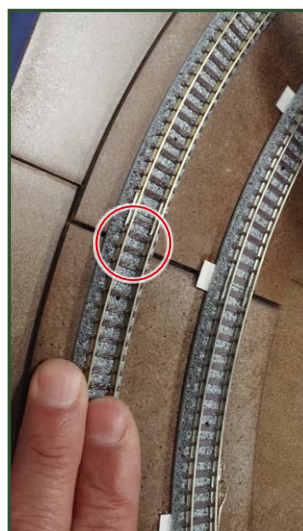
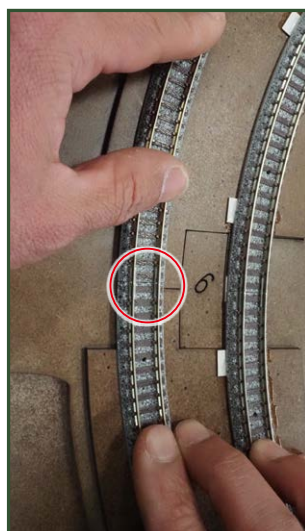
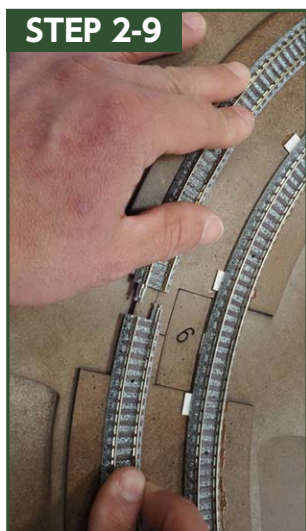
**ONE
ワンポイント
POINT**

【重要】

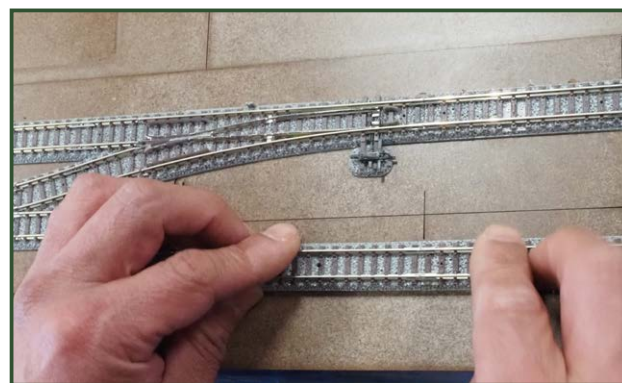
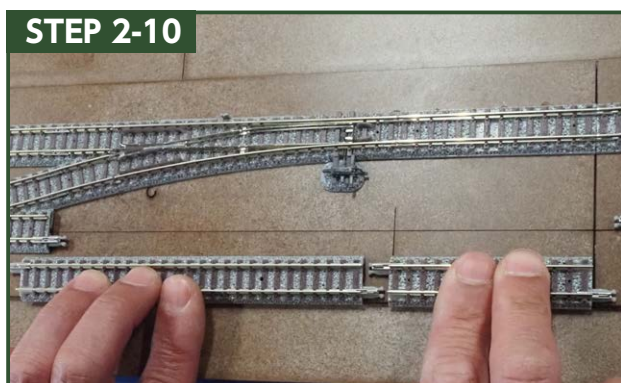
ステージ1、2の作業でレール道床が多少ズレていたり、内周レールが道床ガイドラインの中心線から多少ズレていたりすることが原因で、外周レールが道床のガイドラインとぴったり合わない場合があるが、その場合は複線間隔を合わせる事を優先してレールを設置していく。



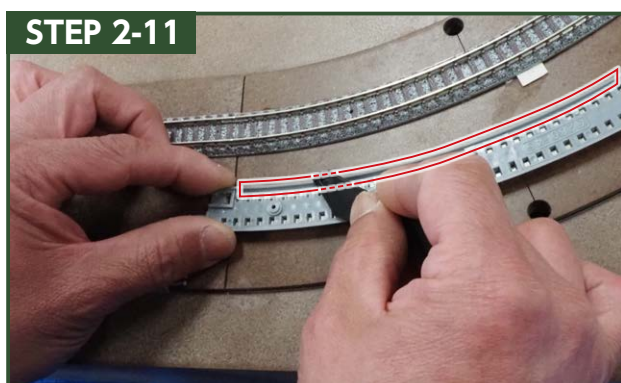
ステージ4 蕎麦屋をつくる、レール(外周)を敷設する STEP 2 : レール(外周)を敷設する



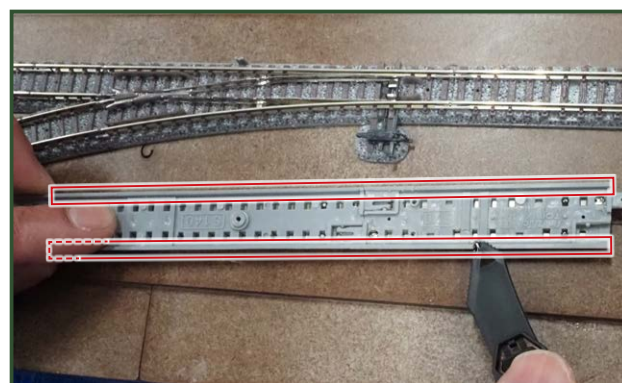
STEP2-3と同様に、4-IカーブレールC280-45を4本用意し、写真のように繋ぎ合わせていく。赤丸は繋ぎ目を示している。



次に、4-KストレートレールS140と4-JストレートレールS70を用意し、写真のように繋ぎ合わせていく。



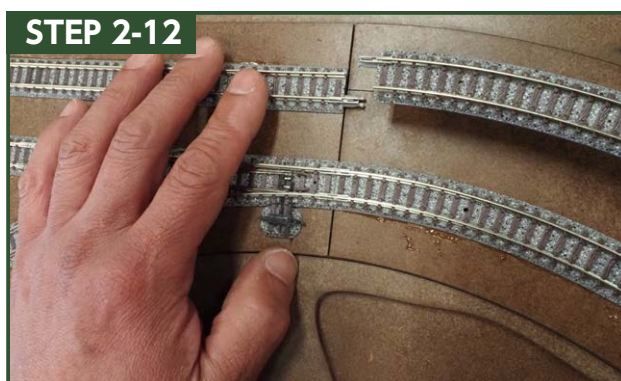
STEP2-9で繋ぎ合わせたカーブレールC280-45を裏返し、カーブレールの内側端部にだけ接着剤を塗布する。



STEP2-10で繋ぎ合わせたストレートレールを裏返し、両側端部に接着剤を塗布する。



ステージ4 蕎麦屋をつくる、レール(外周)を敷設する STEP 2: レール(外周)を敷設する



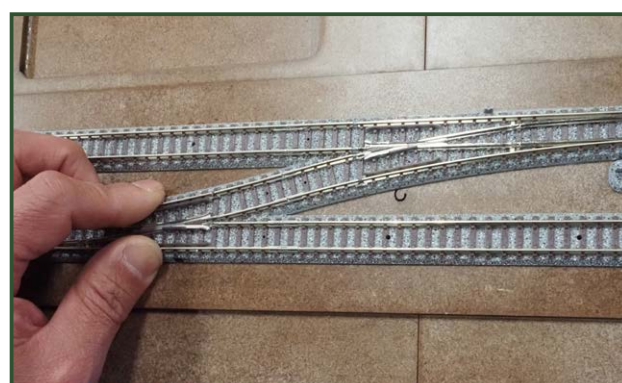
STEP 2-12



レール道床5に既に設置してあるストレートレールの端部に、カーブレールC280-45を繋ぎ合わせて設置する。



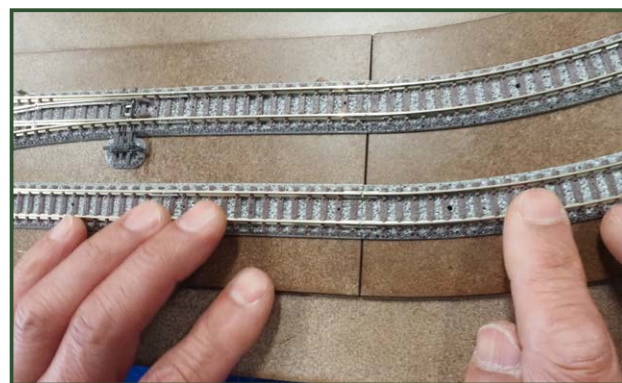
STEP 2-13



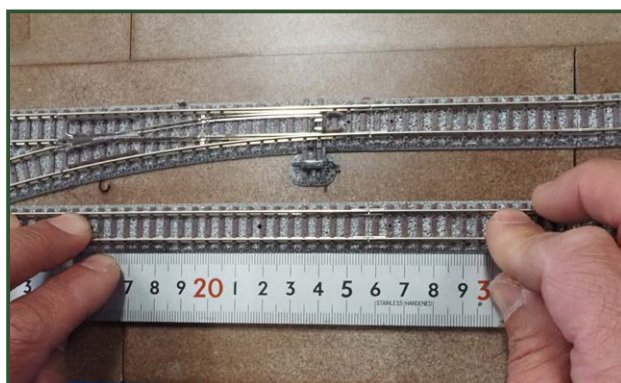
STEP2-11で接着剤を塗布したストレートレールの端部を、レール道床2に既に設置してあるポイントN-PL541-15の未接続端部に繋ぎ合わせて設置する。



STEP 2-14



STEP2-13で設置したストレートレールの端部と、カーブレールの端部を繋ぎ合わせて設置する。



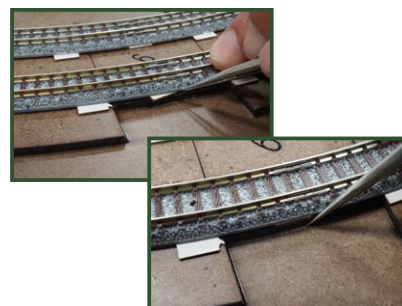
設置したストレートレールがしっかり直線になっているかどうかを定規を当てて確かめる。



また併せて、6の刻印のある踏切部のライン(踏切の渡り板の設置個所を表す)にレールが被っていないことも確認する。

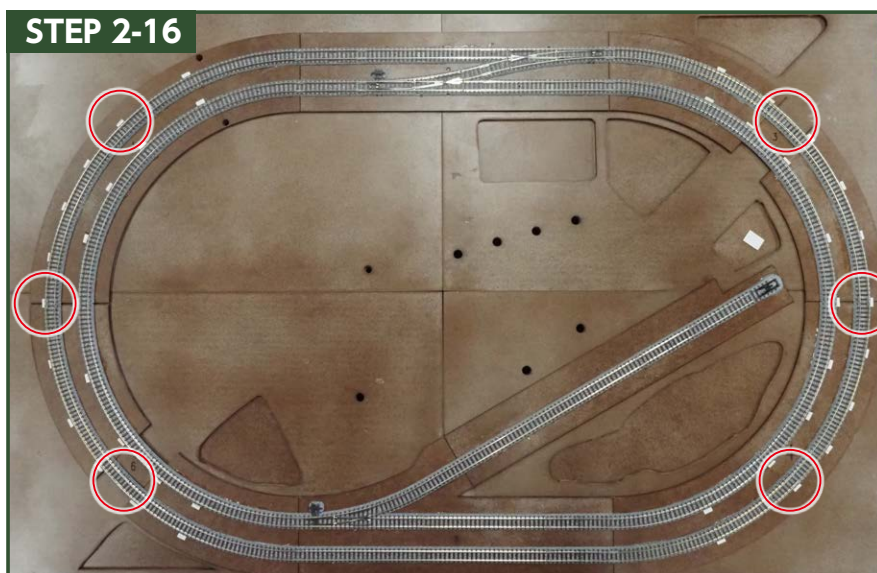


ステージ4 蕎麦屋をつくる、レール(外周)を敷設する STEP 2: レール(外周)を敷設する



接着剤が完全に固まり、全てのレールが固定されていることを確認したら、前回ステージ3で提供したカーブレール台座チップを用意し、ステージ3のSTEP2-15の説明を参考にして、レール道床1の外周レールに木工用ボンドを塗布した台座チップを挿入する。下のSTEP2-16の写真で台座チップの挿入位置を参考にしながら同じ作業を繰り返し、カント(遠心力を緩和するための角度)を付けていく。

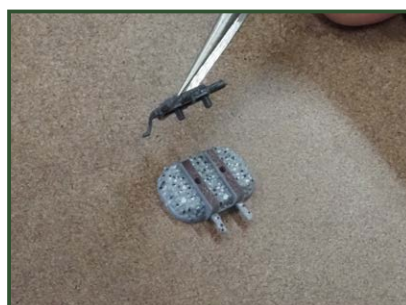
3と6の刻印がある踏切の部分には、台座チップの短辺を半分にカットしたチップを用意し、写真のようにカーブレール外側端からはみ出さないように挿入する。



台座チップを全てのカーブレールに挿入すると左の写真のようになる。
ステージ3のSTEP2-16で説明したように、レールの繋ぎ目の部分には必ず台座チップを挿入するようにする(赤丸部分はレールの繋ぎ目を示している)。



4-NダミーポイントモーターのランナーのLの刻印がある方をニッパーなどで切り出す。



切り出したポイントモーターの突起部を、4-Oダミーポイント切替機台の穴に合わせて押し込む。

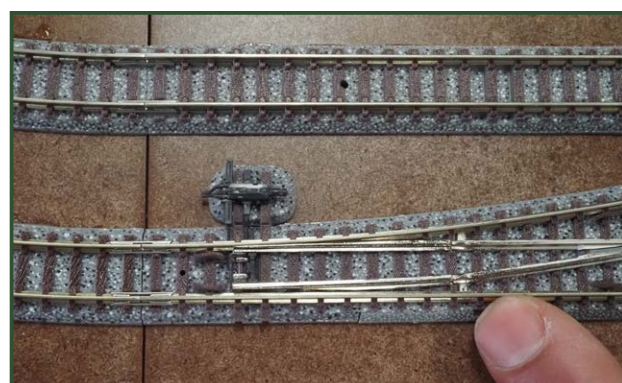
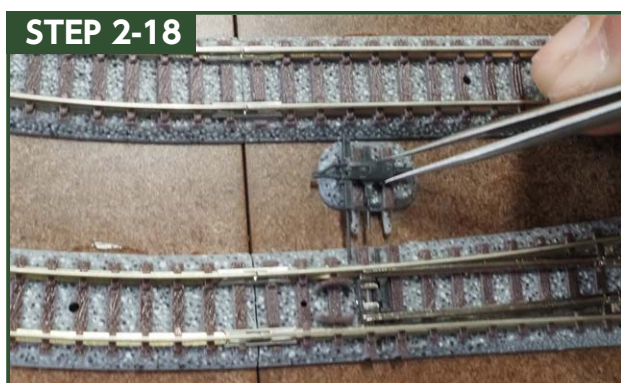


組み立てると写真のようになる。

※Rの刻印のある方のポイントモーターは使用しないので、廃棄して構わない。



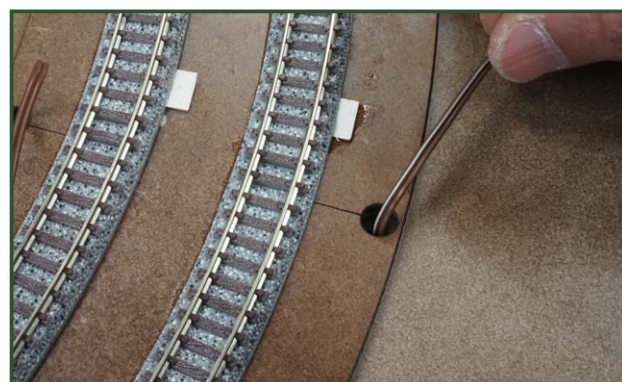
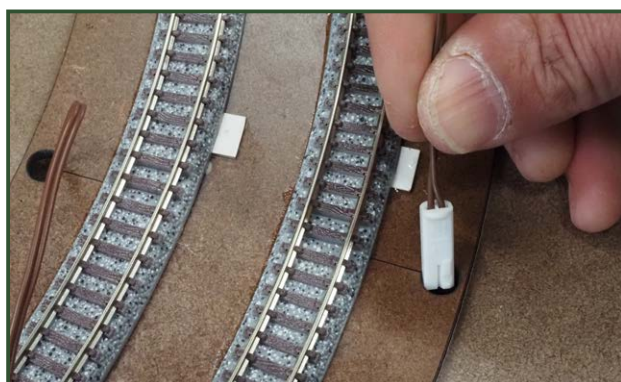
ステージ4 蕎麦屋をつくる、レール(外周)を敷設する STEP 2：レール(外周)を敷設する



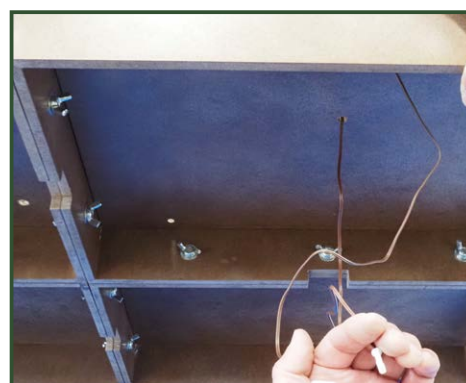
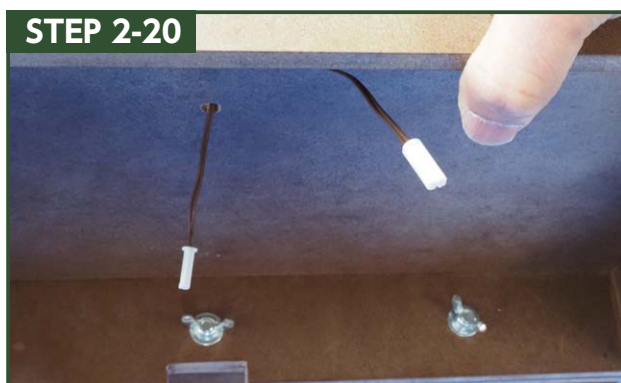
STEP2-2で設置したポイントN-PL541-15の写真の部分にSTEP2-17で組み立てたダミーポイント切替機を差し込む。



4-P DCフィーダーを用意し、レール道床1にある穴にDCフィーダーのコネクターを挿入したら、ケーブルも押し込んでいく。



同様に、反対側の穴にもDCフィーダーのコネクターを挿入し、ケーブルも押し込んでいく。



ベースボードの片側を持ち上げ、ケーブルを引き出す。

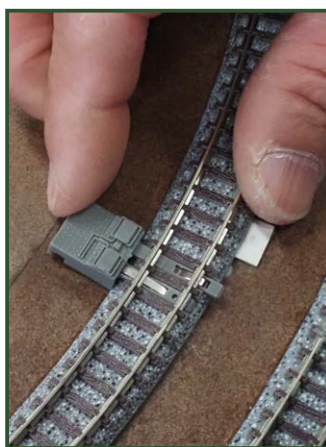
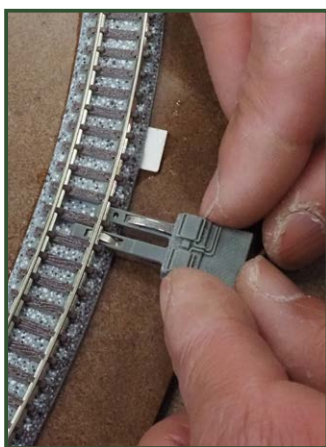


ステージ4 蕎麦屋をつくる、レール(外周)を敷設する STEP 2: レール(外周)を敷設する



STEP 2-21

DCフィーダーを通した穴の近くのレール基礎部分に、フィーダーを挿入できる隙間がある事を確認する。

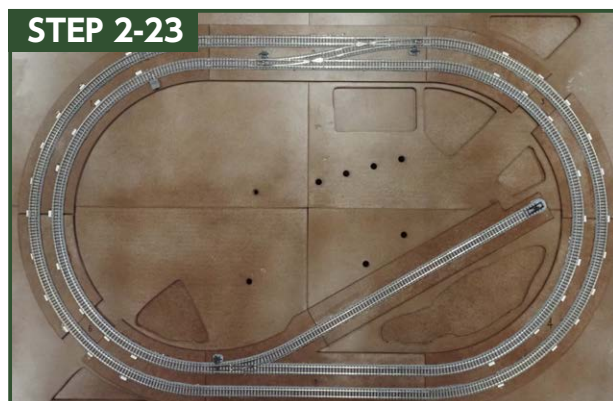


確認した隙間のある部分にフィーダーを差し込む。外周レールにはレールの外側から、内周レールにはレールの内側から差し込む。2つのDCフィーダーを取り付けると右上の写真のようになる。ベースボード上に残ったケーブルは、STEP2-20の要領で全てベースボードの裏側に収まるようにしておく。



STEP 2-22

ベースボード裏側に収めたDCフィーダーのケーブルは、今後の作業中に断線したりしないように、写真を参考にまとめてマスキングテープで固定しておくが良い。



STEP 2-23

外周レール設置の作業を全て終わると写真のようになる。



ステージ4 蕎麦屋をつくる、レール(外周)を敷設する STEP 2: レール(外周)を敷設する

本ステージの完成

これで本ステージの作業は終了だ。

製作物は、次のステージの作業まで大切に保管しておこう。

